

事務事業評価表 平成25年度

政策 計画実現に向けて
 施策 効率的な行財政運営の推進
 基本事業 計画行政の推進

事業名 **行政評価外部評価事業**

[0886]

部名	企画政策部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	政策調整課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 市民、市職員
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 市政策への市民参加が促進される。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 市民公募を含む外部委員で組織する委員会が、市で行っている行政評価結果等について評価を行い、その結果を公表する。

事業量・コスト指標の推移		区分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	市民数		人	122,138	121,705	121,385	121,385
対象指標2	市職員数		人	1,082	1,115	1,133	1,133
活動指標1	外部評価委員会開催回数		回	4	8	8	3
活動指標2							
成果指標1	外部評価に参加した市民数		人	19	26	27	15
成果指標2	外部評価に参加した職員数		人	18	35	38	31
単位コスト指標							
事業費計 (A)			千円	2,068	282	271	178
正職員人件費 (B)			千円	9,672	11,236	6,012	4,834
総事業費 (A) + (B)			千円	11,740	11,518	6,283	5,012

費用内訳	
24年度	報酬 226千円、旅費 29千円、需用費 5千円、使用料及び賃借料 11千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	行政評価の透明性・公平性をより向上させるため、施策外部評価を実施する。	事業を取り巻く環境変化	
--------	-------------------------------------	-------------	--

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

総合計画を適正に進行管理し目標を達成するために、市民や有識者などで構成される外部委員会による客観的な判断・評価は必要である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

各施策・基本事業が、市民の満足度が向上するような適正な成果を出すために必要な事業であり、上位への貢献度も大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

市民委員の指摘により評価内容が修正されることもあり、具体的に市民が市政に参加している状態にある。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

新しい総合計画が26年度から始まり、行政評価の進め方や内容が変更される。これにより外部評価の対象や参集する市民が増える可能性がある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

委員会の開催に係る最低限の経費のみであるため、予算の削減は市民参加機械の減少に直結する。